◇第 22 回電子顕微鏡大学開催の御案内-------
― 初心者と中堅のための電子顕微鏡技術セミナー ―

電子顕微鏡はナノマテリアルをはじめとする先端材料の研究やバイオロジーの分野まで広い領域で、高度で有用な物質情報収集の担い手として、とみに存在感を増しつつあります。しかし、その機能と性能を十分に活用し、真に有用なデータを得るには、どうしてもある程度の基礎知識と操作の技術が要求されることも事実です。
こうした状況を踏まえ、材料研究に従事する研究者や技術者で、これから電子顕微鏡を利用しようとする人あるいは、始めて間もない初級・中級レベルの人を対象に、電子顕微鏡法の基礎的技術セミナー「電子顕微鏡大学」を開講しています。電子顕微鏡による材料の評価法及び分析法を講義して好評のうちに今回で第 22 回目を迎えます。アンケートによる受講者の意見の迅速な反映、好評の「質問・解答集」の送付など、受講者講師陣一体となった「平易で役立つセミナー」となるよう情熱を傾けています。物質・材料研究の次代を担う諸兄の受講をお誘い致します。

主　　催　　日本顕微鏡学会
日　　時　　2012 年 4 月 19 日(木)、20 日(金)
会　　場　　東京大学本郷キャンパス 理学部 1 号館　小柴ホール
東京都文京区本郷 7-3-1
会場地図　http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_01_j.html
交　　通　地下鉄（東京メトロ丸ノ内線または都営大江戸線）本郷三丁目
地下鉄（東京メトロ南北線）東大前、(東京メトロ千代田線）根津 等
定　　員　　150 名（定員に至った時点で締め切ります）
受 講 料　　日本顕微鏡学会会員および賛助会員 30,000 円,協賛学会会員 45,000 円, 非会員 60,000 円,学生 10,000 円（テキスト代、Q&A 集を含む）
協賛学協会　日本物理学会、応用物理学会、日本分析化学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、電子情報通信学会、軽金属学会、日本アルミニウム協会、高温学会、日本複合材料学会、日本表面科学会、日本結晶学会、日本航空宇宙工業会、日本材料科学会、精密工学会、ステンレス協会、日本生物物理学会、電気学会、日本塑性加工学会、日本材料学会、溶接学会、高分子学会、電子情報技術産業協会、日本アイソトープ協会、日本鉱物科学会、表面技術協会、日本セラミックス協会（予定）

申込方法　　e-mail にて申し込みください。件名を「第 22 回電顕大学参加申込」とし、
１．受講者氏名
２．勤務先・所属
３．住所
４．電話番号
５．受講者の e-mail アドレス
６．申込資格：1）本学会会員、2）本学会賛助会員、3）協賛学会会員、4）非会員、5）学生のうちから該当の資格をお選びください。1）については会員番号を、3）については学会名・会員番号をお書きください。
７.受講者とお申込者が異なる場合は、お申込者の氏名、電話番号、e-mail アドレスも記載してください。
e-mail でのお申し込みに問題がある場合には、下記電話番号までご連絡ください。お申し込みが確認されましたら申込受理通知メールをお送りします。
申 込 先　　「電顕大学」事務局
e-mail：eiko@eps.s.u-tokyo.ac.jp
TEL：03-5841-4548　　FAX：03-5841-4555
住所：〒113-0033　東京都文京区本郷 7-3-1　東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻内
申込締切　　2012 年 4 月 12 日(木)
振込方法　　申込受理通知メールが届きましたら、申込締切日までに下記口座宛に受講料を振り込み、「受講料振込完了」と e-mail にてお知らせください。お振込が確認されましたら「受講料確認」メール、追って「講義テキスト」「受講証」「領収書」を郵送いたします。「講義テキスト」「受講証」は当日会場で使用しますので大切に保管してご持参下さい。
振込口座　　三菱東京 UFJ 銀行　秋葉原支店　普通口座
番号　　３０００９８３
名称　　（社）日本顕微鏡学会　電子顕微鏡大学
（振り込み用紙等で振り込む場合はこの名称を書いてください．また ATM からの振り込みでは振込先として”シヤ）ニホンケンビキヨウガツカイ”までしか表示されませんのでご注意ください）
恐れ入りますが、振込手数料は御負担願います。

◇第 22 回電子顕微鏡大学プログラム（予定）-------
＜第 1 日目＞ 4 月 19 日(木)　9：45〜17：20

1.　電子顕微鏡のハードウエア － 基本構造のやさしい解説 －
福嶋 球琳男（日本電子）

2. 電子回折法 － 回折図形の原理と構造情報 －
津田 健治（東北大・多元研）

3. 明視野像法、暗視野像法 － 材料組織と格子欠陥の詳細な観察法 －
坂 公恭（名大・工）

4. 原子構造の解析
　1）高分解能電顕法の基礎 － 格子像原理のわかりやすい解説 －
田中 信夫（名大・工）

　2）高分解能電顕法の実際 － 格子像観察で守るべき技術的ポイント －
市野瀬 英喜（理化学研究所）

＜第 2 日目＞ 4 月 20 日(金)　9：30〜17：40

5. 走査型透過電子顕微鏡（STEM）による結像
阿部 英司（東京大学）

6. エネルギー分散型Ｘ線分光法（EDS）－ 元素分析の原理と実際 －
堀田 善治（九州大学）

7. 電子エネルギー損失分光法（EELS）－ 電子構造の情報を捉える －
倉田 博基（京大・化研）

8. 試料作製法 － 最適試料作製法と新手法 －
谷山 明（住友金属）

9. 走査電子顕微鏡の基本と応用　-多様な機能をどう使うか-
佐藤 馨（JFE スチール）

10. 表面の原子・電子構造 － STM・AFM 原理と技術的ポイント －
富取 正彦（北陸先端科技大）